

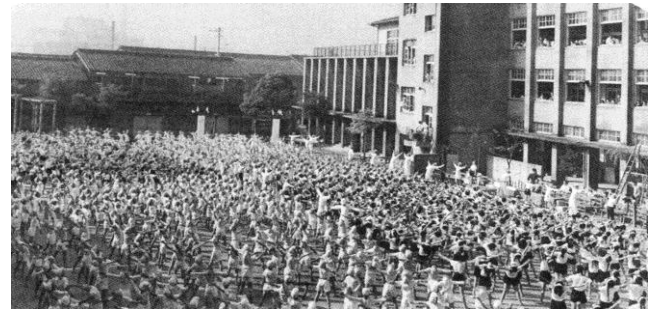


創立記念日に寄せて

6月27日は、野田小学校の創立記念日です。

創立記念日を前にした6月22日の全校朝会では、子どもたちと一緒に野田小学校の歴史を振り返りました。

野田小学校は1903年（明治36年）に、玉川小学校から分かれて誕生しました。当時の学校名は「第二西野田尋常小学校」です。開校当時の児童数は380人でしたが、その年は1年生と2年生だけの学校でした。4年後の1907年には1年生から6年生まで全学年がそろい、児童数は約800人となりました。その後も地域の発展とともに児童数は増え続け、1914年には約1400人になりました。そして1958年（昭和33年）には1804人となり、野田小学校の歴史の中で最も多くの子どもたちが学んでいました。現在の児童数394人と比べると、4倍以上の人数になります。その後は少子化などの影響により児童数が減少し、2002年には265人まで減りました。しかし、校区内のマンション建設などにより再び増加し、2013年には660人となりました。そして現在は394人です。野田小学校は、この123年間の中で、子どもの数が大きく増えたり減ったりしながら歩んできました。



また、野田小学校はこれまでに17,865人の卒業生を送り出してきました。多くの子どもたちがこの学校で学び、友達と出会い、夢や希望をもって巣立っていきました。

123年前は、テレビもありません。スマートフォンもありません。コンビニもありません。そんな時代から、野田小学校は地域の子どもたちを育て続けてきました。今、子どもたちが学んでいる教室や運動場も、多くの先輩たちが使ってきた場所です。現在の学校生活は、123年という長い歴史の上に成り立っています。

では、野田小学校が123年間も続いてきたのはなぜでしょうか。それは、野田小学校を大切に思う多くの方々が支えてくださったからです。卒業生の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、そして教職員。多くの方々が、「野田小学校の子どもたちに元気に育てほしい」という願いをもち続けてくださいました。毎朝、子どもたちの登校を見守ってくださる地域の方々の中にも、本校の卒業生がおられます。また、長年にわたり学校を支えてくださっている方もたくさんおられます。野田小学校は、このような地域の皆様の温かい思いに支えられながら歩んできました。

全校朝会では、子どもたちに、これからも地域やお家の方々に元気にあいさつをする姿、一生懸命学習する姿、友達と仲よく過ごす姿を見てもらおうと話しました。また、野田小学校をさらにすてきな学校にしていくためには、一人一人の行動が大切であることも伝えました。

（※裏面に続く）



(※表面より)

しっかりあいさつをすること。

一生懸命そうじをして学校をきれいにすること。

困っている友達にやさしく声をかけること。

難しいことにも友達と協力しながら挑戦すること。

そのような日々の積み重ねが、これからの野田小学校の歴史をつくっていきます。

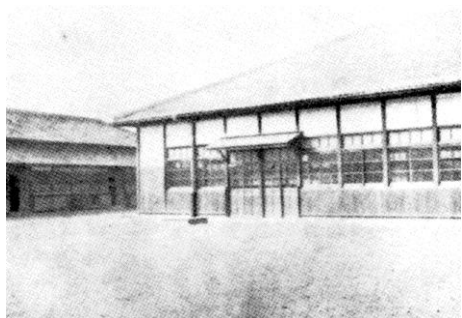


創立記念日は、学校の誕生日をお祝いする日であると同時に、これまで学校を支えてくださった方々への感謝の気持ちをもつ日でもあります。そして、これからの野田小学校をどんな学校にしていきたいかを考える日でもあります。

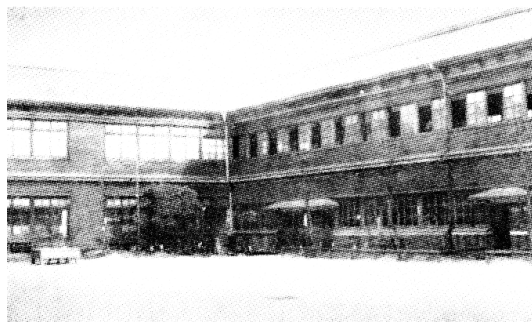
123年の歴史を受け継ぐ子どもたちとともに、これからも地域に愛される野田小学校をつくっていきたいと思います。

野田小学校のあゆみ

※平成 15 年 2 月 発行 野田小学校副読本「わたしたちの野田」より抜粋



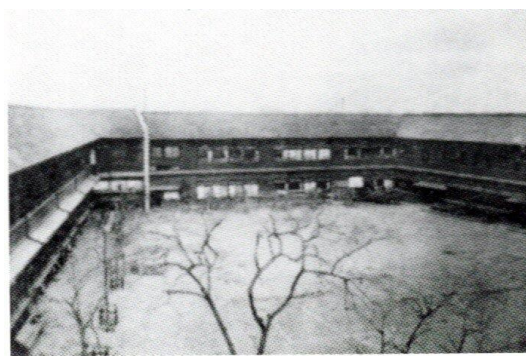
第二西野田尋常高等小学校当時の校舎



増築された木造校舎（明治期）



れんがをしいた運動場（大正期）



新しい木造校舎（大正期）



昭和 36 年までの校舎



平成 15 年ごろの校舎（北校舎はまだなかった）

※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。